

2020年9月8日～2025年7月14日の間に 当科において骨転移緩和照射の治療を受けられた方及びご家族の方 へ

—「骨転移緩和照射における診断用 CT 画像を用いた治療計画作成に関する検討」へのご 協力のお願—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	河合 佑太
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	武本 春菜
	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	後藤 優治
	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	榎本 裕文
	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	副主任	鐵原 滋
	川崎医科大学 放射線腫瘍学	准教授	林 貴史	
	川崎医科大学 放射線腫瘍学	講師	神谷 伸彦	

1. 研究の概要

放射線治療では、目的とする放射線の量を患者さんに当てるために、治療部門にある専用の CT を用いて CT 撮影を行い、パソコンで放射線の当てる量を計算しています。そのため治療が開始されるまでに一定の時間が必要となります。今回骨転移に対する緩和照射に対して、元々撮影されている診断用 CT（病気を見つけるために撮影される一般的な CT）を用いて放射線の量を計算して、専用 CT で計算された放射線の量との差を比較します。放射線の量の差が少なければ、専用 CT を撮影する過程が省略され、より早く治療を開始することが可能になると考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年9月8日から2025年7月14日の間に川崎医科大学総合医療センター放射線科において骨転移に対して緩和照射を受けられた方の中で、治療開始一カ月以内に当該部位の診断用 CT が撮影されていた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2029年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において骨転移に対して緩和照射を受けられた方で、研究者が治療計画（パソコンで計算された放射線の量など）の情報をもとに照射される放射線の量、体の中で病気に当たる放射線の量、体の中で一番当たる放射線の量などのデータを選び、放射線の線量計算に関する分析を行います。専用の治療計画用 CT と元々撮影されている診断用 CT の線量計算の正確さについて検討します。

4) 使用する情報の種類

治療計画の情報（病変の線量、体内の最大線量、診断用 CT 画像・治療計画用 CT 画像）

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合医療センター 放射線治療センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合医療センター 放射線治療センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2029 年 1 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部

氏名：河合 佑太

電話：086-225-2111 内線 80015（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：y.kawai@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。